

八尾市民大学講座 通信

平成30年11月

第7回講座 (11月17日)

私たちの生活基盤を支える下水道 — 現状と課題 —

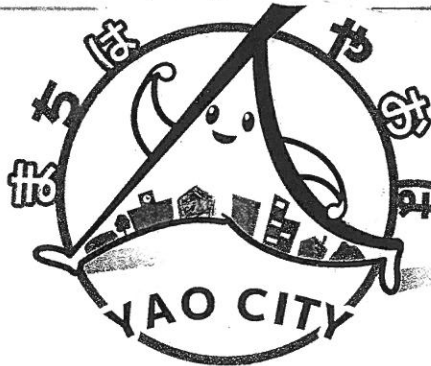
都市整備部下水道管理課

技師 平井 剛士 さん

劇団「お笑いサクケ道場」

下水道博士・濁田水男 = 佐竹 仁 さん
ニゴウ ミズオ
博士の助手・美水なるよ = たちば まどか さん
ウツクシマ

下水道博士は、濁った水の研究に没頭。大雨の水は…家庭や工場の排水の水は…川の水は…研究すること。いっぱい。助手の美しい美水さんに、その汚れた水を、安心して流せる美しい水になるように手助けしてどうなのかな。
「お笑いサクケ道場」のお芝居。笑って笑って、大事な下水道のこと、しっかり勉強しましょう。
下水道の現状をみつめ、私たちの生活の中で、下水道に対してどのように取り組んでいくのが、よいのか。できることから、やってみよう。



第6回講座 (10月20日)

中核市として変わる八尾をもっと知りましょう

八尾市政策企画部行政改革課 係長 芥生 ひとみ さん

八尾市保健所

所長 高山 佳洋 さん

市長が講座の前に、中核市として、行政が、一層速やかにとりこまれていること、そして、これから、さっと、住みやすい八尾市にしていくことを語られました。

中核市、とっても分かりやすい講座でした。八尾市に住んで、大変よかったです。安心して住み続けられると思います。(70代・女性)

より早く、質の良いサービスが提供される位しか知識がなかったが、本日の講義で、より深くまで理解できたような気がする。(70代・男性)

以前、友人と中核市になったらどう変わるかなど話していたので、よく分かりました。高山先生の結婚のお話は、大変参考になりました。ありがとうございました。(70代・女性)

中核市移行について、H30.4月以降の市の事業について存からおりてきた権限や新しい事業を示していただき、わかりやすく説明いただきました。特に、保健所の業務については、たくさんあると聞きましたが、健康への取り組み対策について期待したいです。また、地域における保健師さんの活躍にご期待したいです。(50代・男性)

第8回講座 (12月15日)

皆に知ってほしい — 認知症の人の心の世界 —

大阪大学大学院人間科学研究科 教授 佐藤 真一 さん

認知症は だれでもなると言われます。認知症にかかっている人の心は、特別なのでしょか。いやいや普通？科学的に研究されて認知症の人の心の世界を知り、まわりの人のことだけでなく、自分のこととして対応できるように になっておきたいのです。